

川越のまちに心動く瞬間とき

蔵フェス 2024

中央公民館分室の
今後を考える

川越の今までと
これからを語る **HOTな**
川越人トークセッション

2024
5・26 SUN
12:30~15:00

会場：蓮馨寺境内

〒350-0066 埼玉県川越市連雀町 7-1

- ◆小雨決行。荒天の場合は境内の講堂内にて開催。
- ◆駐車場のご用意はありません。ご了承ください。

入場無料 事前申し込み不要

平成31年4月から、老朽化のため貸出停止中の「中央公民館分室」。由緒ある貴重な建築物でありながら、現状は公民館として機能しておらず、存続が危ぶまれています。この魅力ある日本家屋の可能性を、皆で考えませんか？



川越市中央公民館分室の建物をめぐる話



川越市中央公民館分室は2度の移築を経て現在の場所（六軒町）にあります。東京の三田に久松定謨伯爵邸として建てられた後、小泉八雲長男の一雄氏が昭和3年に三橋村（現・さいたま市）へ移しました。その後、昭和14年に川越への移築をしたのは、当時川越で手広く呉服商を営んでいた、渡辺吉右衛門氏です。川越の発展に大いに寄与した人物で、渡辺吉右衛門氏なくしてこの移築はあり得なかったと考えられます。

県内初のデパート建築の山吉（渡辺吉右衛門）ビルとの関わりも含め、川越の物資集散と商業都市川越の発展にみる歴史的風致の観点からも、この施設は貴重であると考えます。川越の貴重な歴史的建造物として、様々な可能性を大いに持つ施設と言えるのではないのでしょうか。

今まで、保存と利活用は、ともすれば相反するところがあり、保存にはお金がかかるというのが一般的でしたが、これからは積極的に利活用することで、経済も動かしつつ建物を保存していく「動態保存」という考え方を、広く共有していく必要があると考えます。



蓮馨寺近く（川越市六軒町2-15-1）

トークセッション①

グローバル人小泉八雲の 日本愛と、中央公民館分室

鈴木正幸（すずき・まさゆき）

元川越市中央公民館長。40年前、当時川越市の建築課職員の荒牧澄多氏と共に中央公民館分室の開設を担当する。川越市の衣食住・文化を生涯学習の立場から探求した。



寺島悦恩（てらしま・えつお）

東京電機大学名誉教授、NPO法人アートパープズフォーラム理事長。
著書：『うつくしの街川越—小江戸成長物語』一色出版、『ラフカディオ・ハーン著作集第4巻西洋落穂集』恒文社、B.J.T. ドブズ『ニュートンの錬金術』平凡社、R.L. コーリー、T. タシロ『愚者の知恵』平凡社



トークセッション②

どのように残していくのか!? 川越の歴史的建物

加藤忠正（かとう・ただまさ）

（元）川越市都市計画部参事／NPO法人アーバンデザイン研究体理事。1954年 世田谷区生まれ。芝浦工業大学建築学科卒業。一級建築士。1978年川越市入庁主に蔵造りの町並み保存などのまちづくりやアーバンデザイン、美術館建設、建築主事などを担当。2015年から（公社）小江戸川越観光協会専務理事 東洋大学非常勤講師ほか 大学・自治体・公益法人等の講師歴任 現在 株式会社 百足屋取締役。



小島延夫（こじま・のぶお）

川越生まれ。埼玉県立川越高校、早大を卒業し、現在、弁護士。2004年から2019年には早大大学院で教授（行政法・都市法・環境法）。2001年以降、旧川越織物市場保存や川越の織物の歴史の調査をしその保存活用に関与。また、日本と世界の各地の地域活性化にも取り組む。現在はNPO法人川越織物市場の会の代表理事。



タイムスケジュール

- 🕒 12:30～ 開催の挨拶
- 🕒 12:40～ 中央公民館館長御挨拶
- 🕒 12:45～ 中央公民館分室の今後を考える会 ～歴史的建造物・旧山吉別邸～ 発足について
- 🕒 12:55～ トークセッション①「グローバル人小泉八雲の日本愛と、中央公民館分室」（鈴木さん／寺島さん）
- 🕒 13:30～ トークセッション②「どのように残していくのか!？川越の歴史的建物」（加藤さん／小島さん）
- 🕒 14:15～ 来場者と分室のこれからをみんなで考えるワークショップ ～一緒に考えましょう!～
- 🕒 14:55～ 閉会の挨拶